

令和2年度第6回 感染症発生動向調査部会

令和3年2月17日

月番：澤田 明

1 前月の感染症発生動向について（2021年第1週～4週・1月）

<全数把握対象疾患>

- 一類感染症および三類感染症の報告はなかった。
- 結核は26例あり、毎週コンスタントに報告された（やや前年より少ない；対前年比：72.2%）
- レジオネラ症は、比較的毎週コンスタントに報告された（対前年比：150.0%）
- 五類感染症
 - ✓ 毎週コンスタントに報告された疾患は、新型コロナウイルス感染症以外なかった。
 - ✓ 侵襲性肺炎球菌感染症は3例報告された（対前年比：27.3%）
 - ✓ 百日咳は1例報告された（対前年比：5.3%）
 - ✓ 梅毒は5例の報告があった（前年比：125.0%）
 - ✓ 風しんの報告例はなかった
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症は、1650例報告された。

<定点把握対象疾患>

- 前月と比較しある程度の報告数で増加傾向にある疾患は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（前月比：105.6%）、突発性発しん（前月比：107.4%）だが、全体に総数は少ない
- インフルエンザは、6例のみ報告された
- 感染性胃腸炎は毎週コンスタントに報告されているが、同じく総数は少ない（前月比：74.2%、前年比：21.8%）

2 検討すべき課題

- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の体制整備

3 情報提供すべき事項

- ・新型コロナウイルス感染症の発症動向およびワクチン接種（副作用なども含めた）の情報

4 その他（感染症対策推進課から）

- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の改正について（新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律関係）
- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）

<検討結果>